

「サステナブルファイナンス・フレームワーク」を策定！

～鉄道業界初の「サステナビリティ・リンク・ファイナンス」に対応し、サステナブル経営を推進します～

東急株式会社

当社は、社会課題や環境課題の解決を推進する資金調達手段として、「サステナブルファイナンス・フレームワーク（以下、本フレームワーク）」を策定しました。本フレームワークは、目標達成状況により債券またはローンの特性が変動する「サステナビリティ・リンク・ファイナンス」および社会課題・環境課題双方の解決に貢献する事業に調達資金を充当する「サステナビリティファイナンス」に対応しています。なお、「サステナビリティ・リンク・ファイナンス」に対応したフレームワークの策定は、鉄道業界初の取り組みです。

2022年9月2日に創立100周年を迎えた東急グループは、創業以来、事業活動や社会貢献活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。次の100年も「サステナブル経営」を基本姿勢として、社会課題や環境課題の解決を推進するとともに、企業の持続的な成長を図ります。

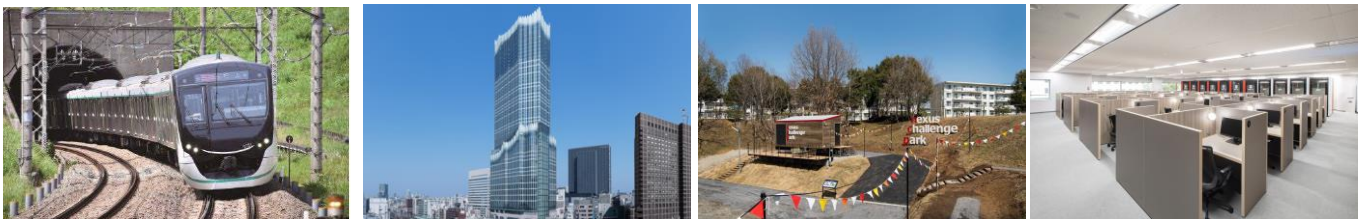
「サステナビリティ・リンク・ファイナンス」では、2022年3月に当社が掲げた「環境ビジョン2030」における、CO2排出量削減目標を重要評価指標（以下、KPI）およびサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPT）として設定しています。「サステナビリティファイナンス」では、2020年9月に策定した「サステナビリティボンド・フレームワーク」に新たな資金用途対象プロジェクトとして、「東急歌舞伎町タワー」と「nexus（ネクサス）構想」を追加しました。また、本フレームワークはローンにも対応することで、サステナブルな幅広い資金調達が可能となります。

なお、本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則（GBP）2021」、「ソーシャルボンド原則（SBP）2021」、「サステナビリティボンドガイドライン（SBG）2021」および「サステナビリティ・リンク・ボンド原則（SLBP）2020」などの原則（以下、諸原則）に基づき策定しました。

諸原則との適合性については、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（以下、JCR）より、サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークについて第三者意見を取得し、また、サステナビリティファイナンス・フレームワークについて「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位である「SU1（F）」の評価を取得しています。

当社は、本フレームワークを通じたサステナブルファイナンスとしての多様な資金調達により、「次の100年」に向けたサステナブル経営を推進し、社会とともに持続的に成長することを目指します。

以 上



【別紙】

東急株式会社 サステナブルファイナンス・フレームワークについて

1 本フレームワーク概要

資金調達手法	サステナビリティ・リンク・ファイナンス ¹	サステナビリティファイナンス ²
KPI ³	当社および連結子会社のCO2排出量の削減率 ⁴	—
SPT ⁵	2030年度までに 2019年度比CO2排出量46.2%削減	
適格プロジェクト (資金使途)	—	「クリーンな輸送(新型車両導入など)」、「安全・安心のための鉄道関連インフラ」、「サステナビリティ・ビルディング(東急歌舞伎町タワー)」、「グリーンビルディング」、「気候変動対応」、「nexus構想」、「サテライトシェアオフィス(NewWork)」に充当予定
債券およびローン の特性	① 利率のステップ・アップ/ステップ・ダウン ② 寄付	—
検証および レビュー	KPIの実績に関して、SPT達成状況の判定日までの間、少なくとも年1回、独立した第三者による保証報告書を取得 フレームワークの諸原則との適合性についてJCRより第三者意見を取得	フレームワークの諸原則との適合性についてJCRより「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位である「SU1(F)」の評価を取得
ストラクチャリング エージェント ⁶	大和証券株式会社	

2 対応諸原則の一覧

策定者	諸原則
・国際資本市場協会(ICMA)	グリーンボンド原則(GBP)2021
	ソーシャルボンド原則(SBP)2021
	サステナビリティボンドガイドライン(SBG)2021
	サステナビリティ・リンク・ボンド原則(SLBP)2020
・環境省	グリーンボンドおよびサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン(2022年版)
	グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン(2022年版)
・金融庁	ソーシャルボンドガイドライン(2021年版)
・ローンマーケットアソシエーション(LMA)	サステナビリティ・リンク・ローン原則(SLLP)2022
・アジア太平洋地域ローンマーケットアソシエーション(APLMA)	グリーンローン原則(GLP)2021
・ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション(LSTA)	ソーシャルローン原則(SLP)2021

1 発行体が設定したサステナビリティ(グリーンおよびソーシャル)/目標の達成状況に応じて、財務的・構造的に変化する可能性のある債券、借入など

2 調達した資金の全額がグリーンプロジェクトおよびソーシャルプロジェクト双方への新規投資またはリファイナンスに充当される債券、借入など

3 KPI:「重要評価指標」は、選定した指標のパフォーマンスを測定するために使用される定量的な指標

4 2022年3月に当社が掲げた「環境ビジョン2030」の取り組み目標における「Scope1・2」が対象

5 SPT:「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット」は、発行体が表明する、事前に設定した時間軸における、KPIの測定可能な改善目標

6 フレームワークの策定および外部評価の取得に関する助言などを通じて、サステナブルファイナンスの実行支援を行う者

3 外部評価の取得

諸原則との適合性については、第三者評価機関であるJCRより、サステナビリティ・リンク・ファイナンスフレームワークについて第三者意見を取得し、サステナビリティファイナンス・フレームワークについて「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位である「SU1(F)」の評価を取得しています。

・JRCホームページ <https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

4 環境ビジョン2030

当社は、2022年3月に「環境ビジョン2030」を制定するとともに、連結環境目標を更新しました。また、循環型社会の実現に向けた目標も新たに設定し、それらの目標達成に向け、11のアクションを定めています。サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークにおいては、「環境ビジョン2030」におけるCO2排出量削減目標をKPIおよびSPTとして選定しています。

5 サステナビリティファイナンスにおける資金使途（新規適格プロジェクト）

適格プロジェクト	SDGs貢献目標	取組概要・期待される効果
<p>東急歌舞伎町タワー (歌舞伎町一丁目地区開発計画)</p>  	      	<p>【概要】 本計画は、多様な文化を発信するエンターテインメント施設、街の文化を織り込んだホテルなどからなる高層複合施設の整備、周辺基盤整備などを通じて、新宿歌舞伎町周辺のにぎわいを創出します。整備にあたり、東京都建築物環境計画書制度における評価段階3相当の環境性能の確保を目指します。また、複数の感染症対策を施設全体で実施し、2021年10月には国土交通省より、新宿駅周辺地域の新しい地域整備方針に基づく民間都市再生事業計画として、初の認定を受けました。本計画の推進を通じて新宿・歌舞伎町のさらなる魅力向上に貢献していきます。</p> <p>【効果】 施設から排出するCO2の削減、省エネ化、生態系の一部保全、先導的な感染症対策などを実施する集客施設による感染リスクの低減を通じた経済活動と感染症対策の両立など。</p>
<p>nexus構想</p>  	  	<p>【概要】 本構想の第1弾として、2022年4月に「nexusチャレンジパーク早野」を開業し、地域住民が日常的に自由に活用する場、およびバディ(本構想に参画する企業、行政、教育機関など)の新サービス開発や実証実験の場として運営を開始しました。次の100年に向けたパイロットプロジェクトと位置づけ、多摩田园都市エリアの社会課題の解決および社会的価値を創出する「東急ならではのまちづくり」を推進していきます。</p> <p>【効果】 まち全体で子育てを行う仕組みの構築、独居高齢者を含めた高齢者が包摂される地域社会の実現、新規事業を通じた地域活性化を促進、地域農家の販売機会を設け地産地消を促進、新たなモビリティの提供による生活者の活力最大化など。</p>

※上記の他、本フレームワークを通じた資金調達では、適格プロジェクトとして「クリーンな輸送(新型車両導入など)」、「安全・安心のための鉄道関連インフラ」、「グリーンビルディング」、「気候変動対応」、「サテライトシェアオフィス(NewWork)」にも資金充当予定です。

【参考】当社関連URL

- ・「環境ビジョン2030」<https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=20220328-1.html>
- ・「東急グループ100周年ホームページ」<https://www.tokyu.co.jp/tokyu/>